柏市中高生世代モニター
～わたしたちの活動報告～

令和５年７月２３日（日）ＡＭ１０：００～１２：００

ラコルタ柏

はじめに：背景・課題

- 「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針（令和３年１２月２１日：内閣官房）の基本理念のひとつとして「全てのこどもの健やかな成長，Ｗｅｌｌ－ｂｅｉｎｇの向上」を掲げ，安全で安心して過ごせる多くの居場所，そこで様々な学びや多様な体験の機会に触れ，自己肯定感や自己有用感を高め，幸せな状態で成長し，社会で活躍していけるようにすることが重要とされている。
- 「こども基本法」（令和５年４月１日施行）第３条（基本理念）で，こどもの意見表明機会の確保・意見の尊重が掲げられ，第１１条（こども施策に対するこども等の意見の反映）で国や地方公共団体に対する「こども等の意見の反映」に係る措置を講ずることとされています。

法第３条第３項：全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

法第３条第4項：全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

法第１１条：国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

はじめに：（仮称）子ども・子育て支援複合施設

◘柏市では**６つの分野**（こども未来，健康・サポート，経済・活力，地域のちから，環境・社会基盤，安全安心）＋経営の視点を掲げ推進していく方針です。

◘令和５年度は，**子育てしやすい“まち”柏**の実現と誰もがいきいきと学べる環境の構築などに優先的に取り組んでいく考えです。

◘そのような中で，具体的な施策として，**柏駅前において「子育て支援＋若者の居場所作り」**を進めることとなりました。

◘中高生世代モニターの皆さんには，**より良い居場所を作るため**に，**当事者**として様々な角度からの**意見**を聴き，**多くの**中高生世代の**若者が必要とする**安全・安心な「居場所」を整備することを目的として，モニター制度を活用し，募集しました。

(令和５年２月公表　整備方針より)

1　中高生世代モニターの概要とこれまでの活動の経過

(1) モニター募集の目的とねらい

　中高生世代の居場所の整備を進めるにあたり，当事者の意見や考えを聞き取り，これらを施設の設備・機能の整備，及び運営に反映することを目的としたもの。

(2) 募集方法

ア　柏駅前から概ね半径２Ｋｍに位置する中学校(7校)，高校(3校)に募集チラシを配付

イ　市ホームページ，市LINE，課Twitterでの募集，公共施設等へチラシ配架及びポスター掲示

(3) モニターの**２１名**のメンバー構成

	学年	性別
中学生	１年生　３名	男子６名
	２年生　６名	女子７名
	３年生　４名	
	中学生計　１３名	

	学年	性別
高校生	１年生　３名	男子３名
	２年生　３名	女子５名
	３年生　２名	
	高校生計　８名	

学校名は「秘密」
ニックネームで呼び合った

(4) 活動の経過

開催回数	開催予定日	参加人数	ミーティング内容
第１回	４月２３日(日) １３：００～ １４：３０	１７名	「あったらいいな。こんな居場所」 ⇒自分が考える居場所の「必要性や理想（希望）」を考えてみた！
第２回	５月１３日(土) １５：００～ １６：３０	１２名	「ひがまつテラス【松戸市青少年プラザ】を見学して」 ⇒実際の居場所を見学して「いいな」を考えてみた！
第３回	５月２８日(日) １３：００～ １４：３０	７名 (内ZOOM2名)	「中高生世代の居場所に関するアンケート結果」 ⇒アンケート結果から読み取れる課題や必要なものを考えてみた！
第４回	６月１１日(日) １３：００～ １４：３０	９名 (内ZOOM1名)	「多くの人が集う居場所とは」 ⇒自分以外の友達・仲間，多様な視点から「必要な居場所」を考えてみた！
第５回	７月９日(日) １３：００～ １４：３０	９名 (内ZOOM1名)	居場所に「話を聞いてくれたり・サポートしてくれる人と話をする」ことを求めている友達・仲間とは」 ⇒支援を求めている「友達・仲間」が居場所に必要とするもの（人，もの）を考えてみた！
第６回	７月１７日(日) １３：００～ １４：３０	１０名	「わたしたちの活動報告」（第１回～第６回までのまとめ） ⇒これまでのミーティングを踏まえ，中高生世代の居場所に必要な機能・設備等を整理し，まとめてみた！

グループワークのルールを定め，みんなで話あってきました！（ひとの意見は否定しない等）

自　分

事　例

データ

友達・仲間

支援が必要な仲間

多くの仲間の視点・角度から「ほしいもの」，「必要なもの」，「その理由や効果」などを考えてきました。

２ 「中高生世代の居場所に関するアンケート調査」の実施

(1) 調査対象

ア 市内公立中学校全２１校及び柏市立柏高等学校の生徒（ＧＩＧＡ端末を活用）

イ ラコルタ柏の学習スペース，パレット柏のオープンスペース利用者，及びきぼうの園に通う中学生等

(2) 回答数

約８，０００件（内訳：中学生：約7,100件，高校生：約830件，大学生他：約20件）

(3) 主な質問内容

ア 家や学校以外に「自分らしくほっとできる居場所」があるか？ほしいか？

イ その居場所は「あなたにとってどのような場所」か？

ウ どのような居場所であれば「行ってみたい」か？　　など

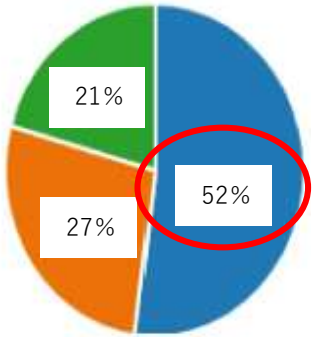
参考資料1

「中高生世代の居場所に関するアンケート調査」の結果（概要）

問４

4. あなたは，家や学校のほかに「自分らしくほっとできる場所（居場所）」がほしいですか

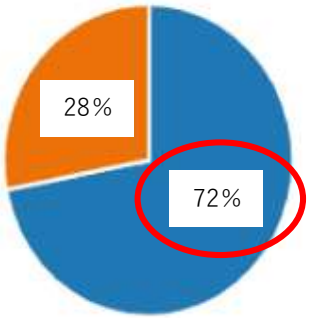
1.はい	4080
2.いいえ	2130
3.わからない	1620



問５

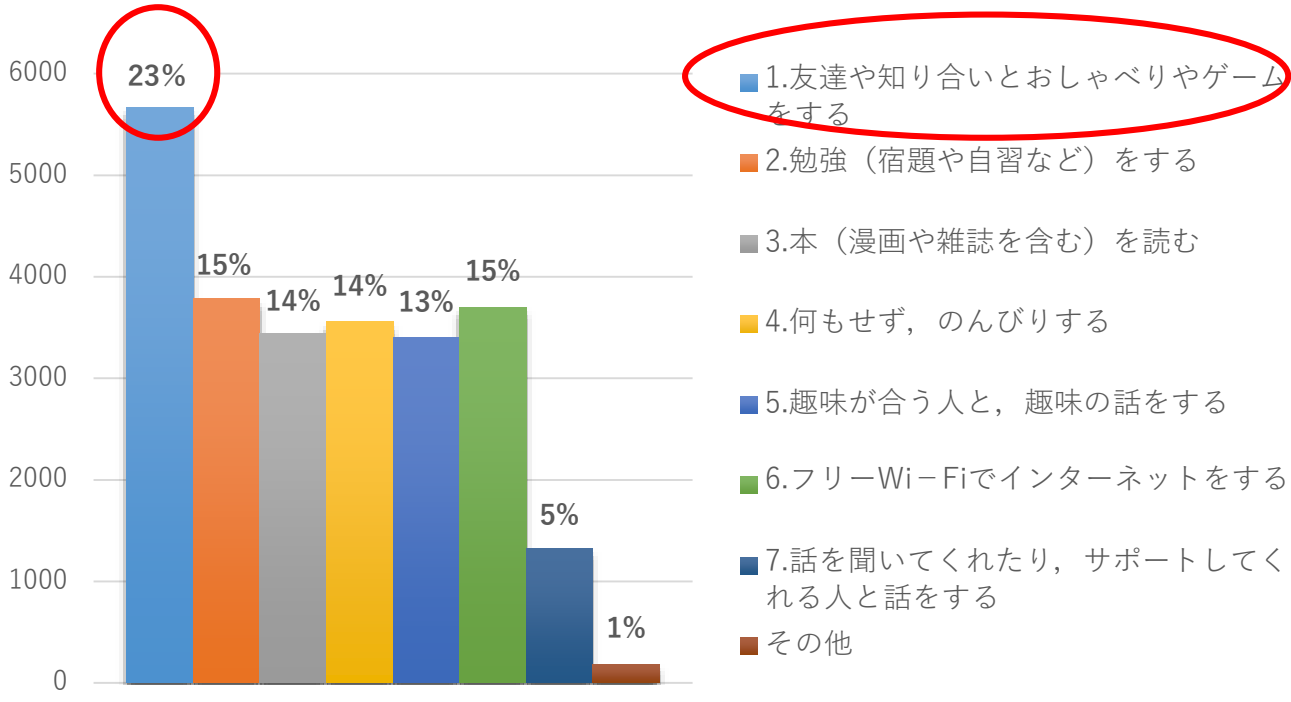
5. あなたは，家や学校のほかに「自分らしくほっとできる場所（居場所）」がありますか

1.ある	5636
2.ない	2194



問10

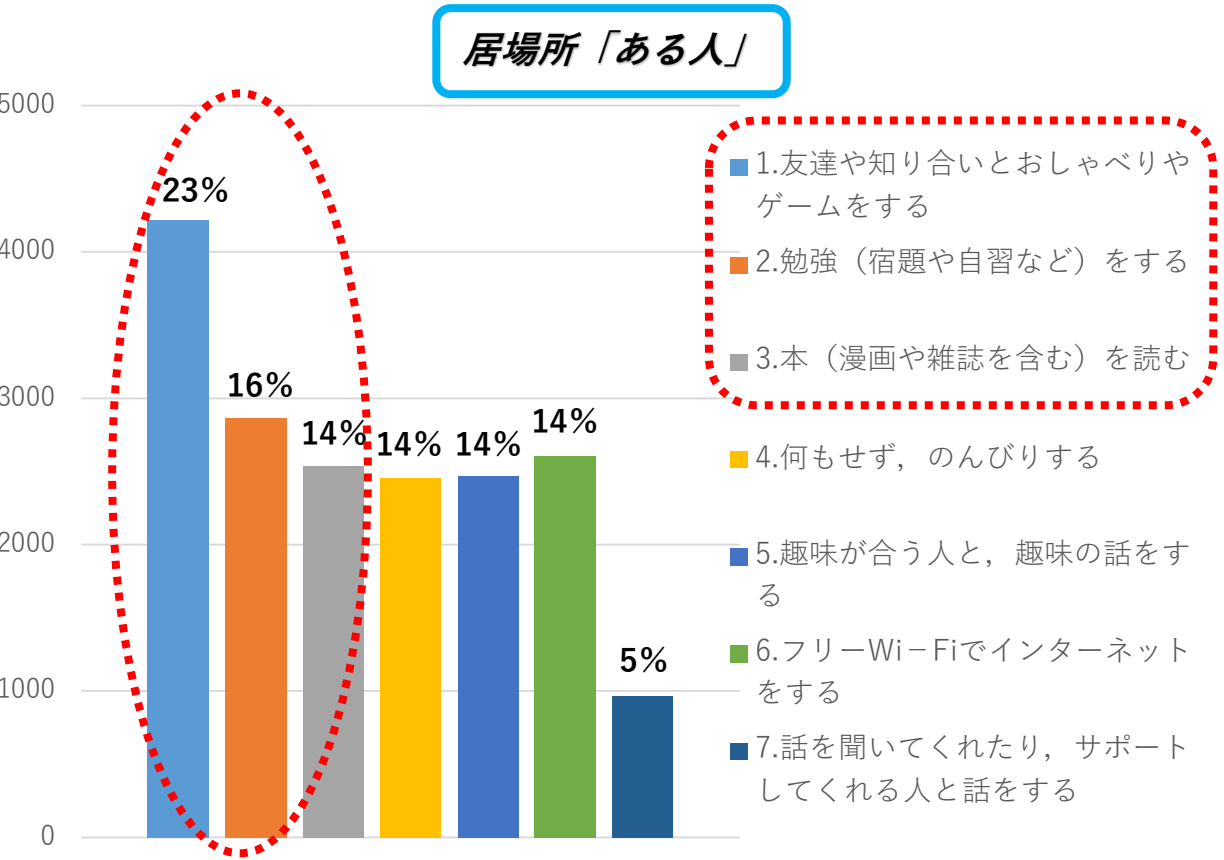
10. 柏駅前複合施設の「中高生世代の居場所」でどのように過ごせたらいいと思いますか

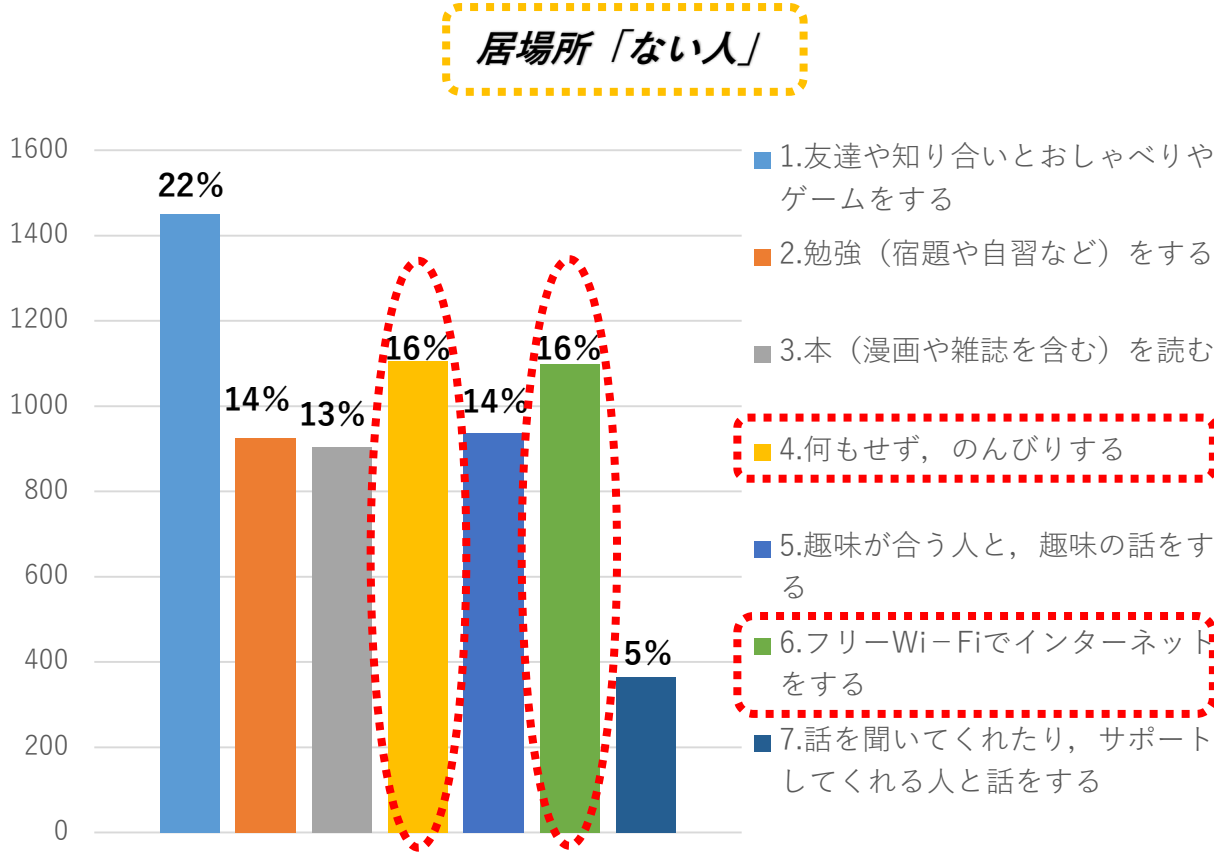


家庭・学校以外の

居場所が「ある人」と「ない人」の居場所での過ごし方を比較した結果

参考資料2





「居場所がある」人の過ごし方は，目的(交流，勉強，読書等)が明確になっているのかも
⇒居場所での過ごし方のイメージができているのかも…

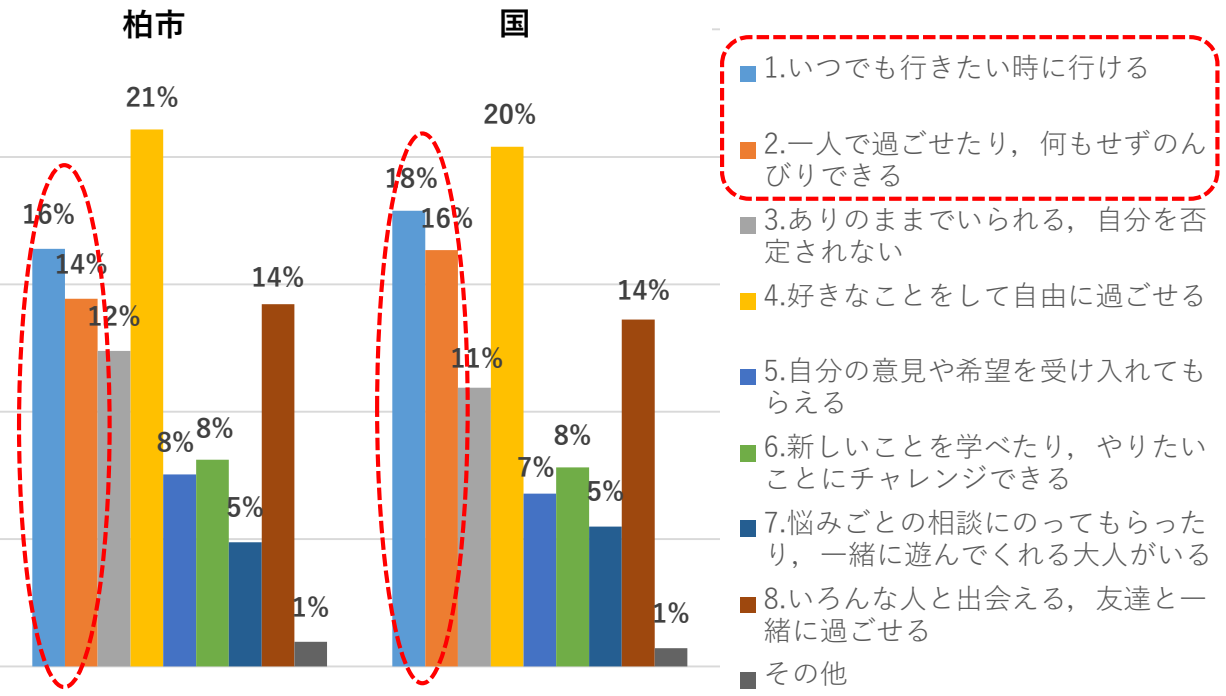
「居場所がない」人の過ごし方は，自分の時間や空間を大事にしたいのかも
⇒居場所での過ごし方のイメージができていないのかも…

家庭・学校以外の

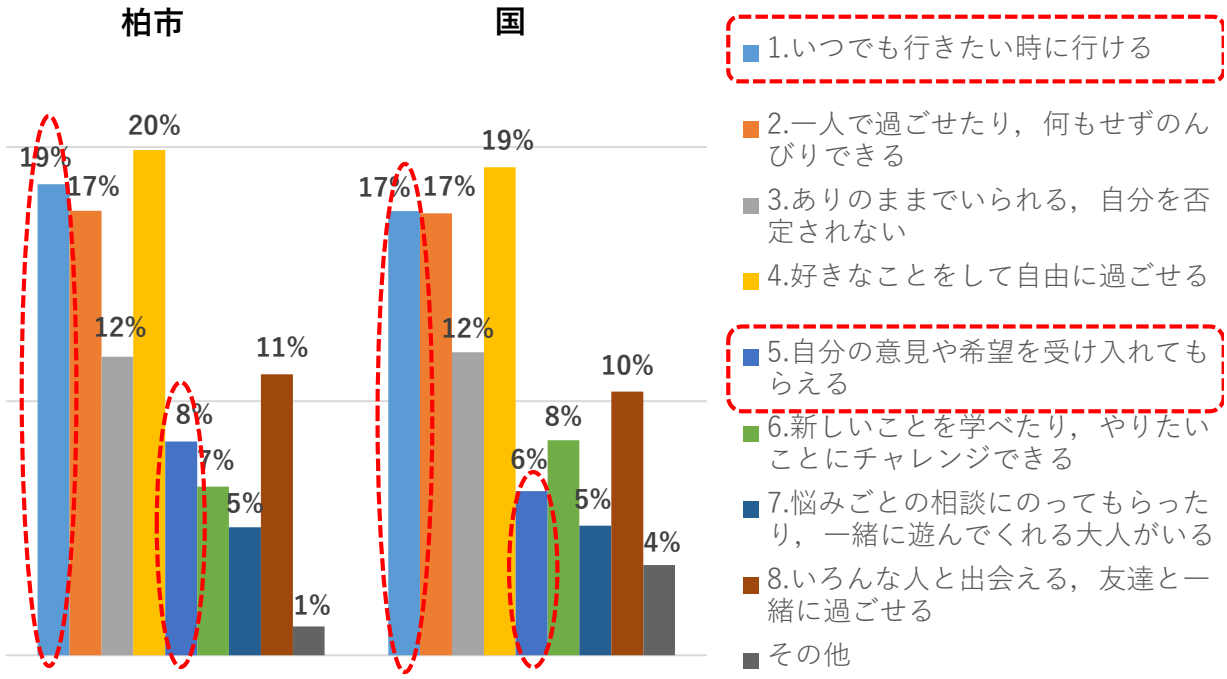
国（内閣官房）の調査と柏市のアンケート調査の結果を比較した結果

参考資料3

居場所「ある人」



居場所「ない人」



国の調査で「居場所がある」人は，柏市の調査よりも気軽に行けて，のんびりすごしたい希望が高い⇒居場所が身近にあり，気軽に行けて，のんびりすごせる…

柏市の調査で「居場所がない」人は，国の調査よりも気軽に行けて，自分を受け入れてもらいたい希望が高い⇒居場所が身近になく，やりたいことが充分できない…

2 「中高生世代の居場所に関するアンケート調査」から・・・

アンケート結果から，わたしたちが感じたこと。考えたこと。

友達や知り合いとおしゃべりしたりゲームをしたい希望が多い

自由に**好きなこと**をしていたいのでは！？

「居場所」がほしいか？との問いに「わからない」と答えている人も多い

自分らしくホッとできる居場所の**想像**がつかないのでは！？

多くの人に**認めてもらいたい**と感じている

自分の趣味や興味等を語り合い，多くの仲間に認めてもらいたい希望が多い

よく知らない人に話をしたり，サポートされるのが**心配**？それとも**必要**ない？どちらなのか！？

相談やサポートを希望する人が少ない

今の居場所に**満足していない**のでは！？

居場所が「ある」けど居場所が「ほしい」と答えている人がいるのはなぜだろう

あまり**干渉**されず，**費用**がかからず，自由に好きな事をしていたいのでは！？

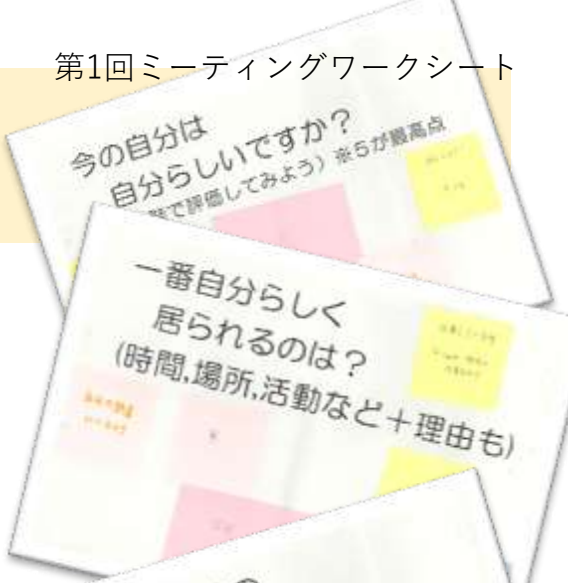
自分らしく活動できる居場所が「ある」にしろ「ない」にしろ希望するものは同じ

3 「中高生世代モニターミーティング」から
わたしたちが考えたこと。整理したこと。・・・

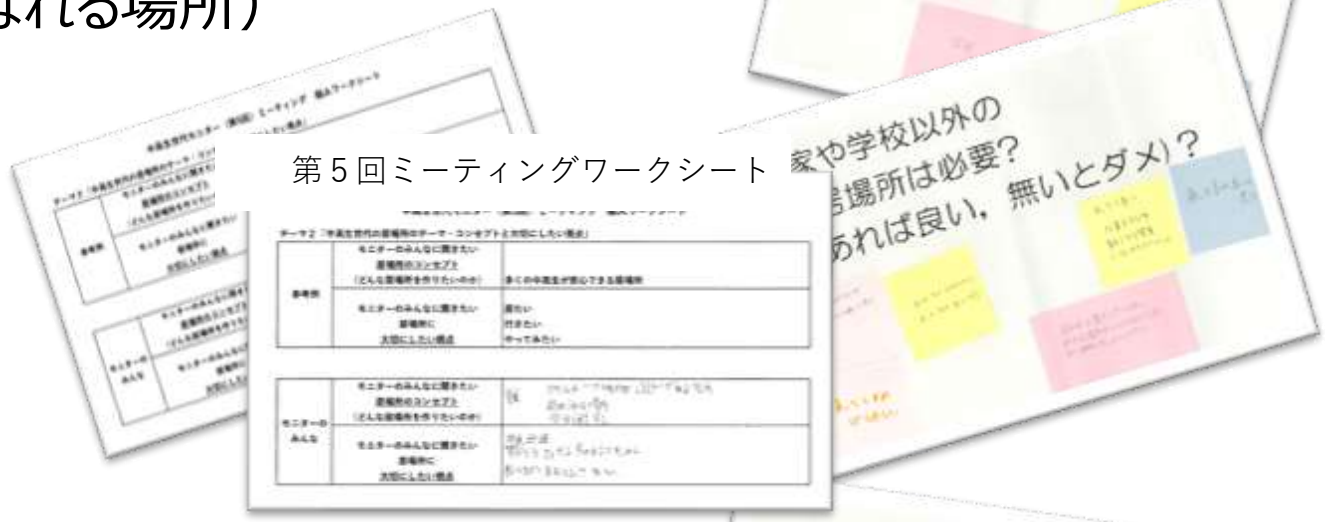
（１）こんな居場所を作りたい（こんな居場所が必要）

・みんなの**個性**が**尊重**される場所（認められる，否定されない場所）
・みんなが**活躍**ができる場所（みんなが主役になれる場所）
・みんなが**自由**に，**楽しく**いられる場所
・新たな**つながり**が生まれる場所
・**落ち着く**（安らげる），**現実逃避**できる場所
・**やってみたい**（夢）を実現できる場所

第1回ミーティングワークシート



第５回ミーティングワークシート



（２）大切にしたい視点

・本来のキャラを出せる。素の自分でいられる。個性(可能性)の芽をつぶさない
・現実や嫌なものから逃げることもＯＫ
・やりたいことができる，様々な設備がある，安心，気軽，集まれる
　知っているメンツがいる，入りやすさ，にぎやかでもＯＫ

4　大切にしたい視点

(1)　個性を尊重(認めあう)，活躍，現実を忘れる
(2)　自由，つながる，安心，落ち着く
(3)　やりたいことができる，夢をかなえる

想い
場所（空間）
機能・設備

5　中高生世代の居場所が目指すもの

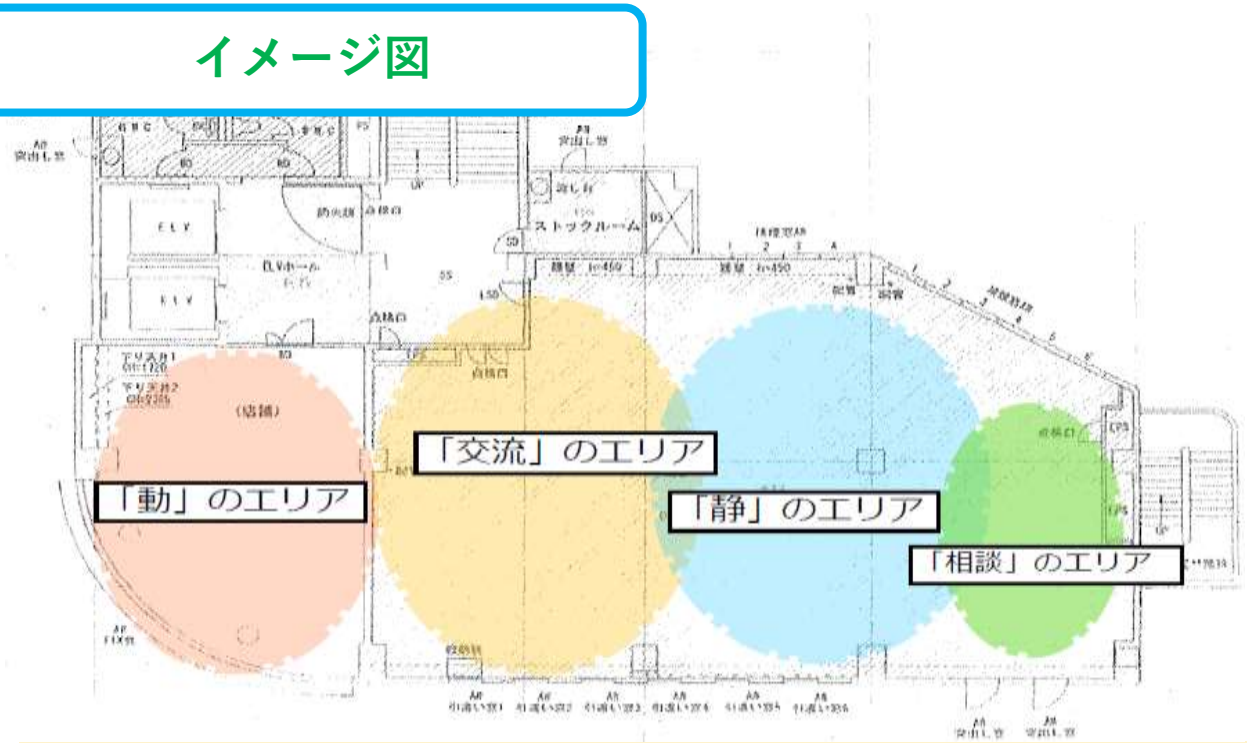
(1) ありのままの自分・本来の自分でいられる居場所
(2) 尊重・認め合い，みんなが活躍できる居場所
(3) 日常の生活を忘れることができる居場所

6　中高生世代の居場所での活動イメージ

いつ利用したい？	どんな風に過ごしたい？	それは本当に（なぜ）必要なの？ そのために必要な人（もの）は？	キーワード
休日など部活がないとき	楽器（音楽）やダンスの練習がしたい	・音がうるさくて家で練習できないので，周りを気にせず落ち着いて練習したい	**音楽 ダンス**
主に休日	仲間とゲームがしたい 同じ趣味の人と語り合いたい イベントをしたい	・学校以外で気の合う仲間をつくるきっかけが生まれる ・同じ趣味をもつ多くの仲間と交流したい ・自分の興味や関心を他の人にも伝え，仲間を増やしたい	**自由 交流 飲食**
主に放課後や休日	友達と騒ぎたい 友達と雑談したい	・安全に安心しておしゃべりしたい（駅前（屋外）だと危険を感じる） ・飲食しながら，おしゃべりしたい（飲食禁止の場所が多いから） ・いろいろな話をしてストレスを発散したい	
テスト前など	勉強（自習）	・集中して勉強したい（家だと声をかけられたり，ゲームなどの誘惑があり集中して勉強できない）	**学習**
ゆっくりしたいとき	１人でゆっくり過ごしたい（読書，居眠りなど）	・複雑な人間関係で疲れがちになったとき，誰にも何も言われずに休みたい	**リラックス 読書**
必要なとき	大人に相談したい，サポートしてもらいたい	勉強にいきづまったときに教えてほしい 悩んでいることや思っていることを言いたい（聞いてほしい）	**相談・サポート**

7　（仮称）子ども･子育て複合施設における「中高生世代の居場所」のイメージ図，期待する効果

イメージ図



◎期待する効果

1　ありのままの自分をもっと好きになれる。

2　自分の役割を見つけ，みんなのために活躍することができる。

3　多くの人のサポートにより困難を乗り超え，将来の夢に向かって取り組める。

8　私たちの想い･･･（おわりに）

（１）モニターに応募した動機

（２）居場所についての想い

（３）活動を通じて感じたこと